

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		渉外事務費[渉外事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	秘書広報		課	秘書		係	課長名	五十嵐 孝雄	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市長及び副市長			人数					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
対応すべき公務を行うことができる。			秘書担当の責により対応できなかった公務の数 / 対応すべきであった公務の数						
→									
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
市民団体や外部組織等との調整を図り、公務日程を調整し、必要な準備等を行った。			対応した市長公務の数						
→									
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2	2	2			
	成果指標	②の数値	%	0	0	0			
	目 標	②の目標値	%	0	0	0	0	0	
		目標値設定の考え方 市長・副市長が対応すべき公務の全てを行うことができるようにする。							
活動指標	③の数値		687	707	617				
3 経費	事業費(実績)		円	2,363,959	2,346,667	2,360,513	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	2,363,959	2,346,667	2,360,513			
		特定財源	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.5	1.7			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	12,366,000	12,366,000	14,127,000			
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	14,729,959	14,712,667	16,487,513				
4 環境変化等	(1) 開始年度		S45 年度 (市制施行当時から)						
	(2) 環境の変化		外部団体との情報交換や交渉にあたって必要となる交際費に関しては、全国的には、支出に関する情報公開請求や住民監査請求等も見られている。現市長就任後、市長交際費については、発起人等が開催する祝賀会会費、その他市長が必要と認める経費に限り、支出しているところである。						

事業名称	渉外事務費[渉外事務]				
担当部署・課長名	秘書広報	課	秘書	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について この仕事に関する意見や要望はなかった。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑥			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市長交際費支出記録簿の窓口ならびにホームページでの公表）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 情報提供は、市民協働において重要な要素であることから、引き続き、適時・的確な情報提供に努めたい。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 引き続き、いかに多くの外部団体等との情報交換を行うかなど、対応の必要性判断が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 移動手段や移動経路など、効率的・効果的な対応ができることを念頭に日程調整を行うとともに、過去3年程度の対応実績などを踏まえ、対応状況の全体的な均衡を保てるよう努めた。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 限られた時間の中で行う外部団体との情報交換のあり方についての検討は、今後も継続していく必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 現状は維持しつつ、都度必要と思われる公務日程を調整していく。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 公務日程のうち、市長・副市長に裁量の余地がある各種団体との情報交換については、相手方として多種多様な団体があり、優先順位をつけることは難しい。日程が重なる場合には、幅広く交際するという観点から、新たな団体を優先することなども検討したい。				